

## 第13回GX実行会議への意見

日本商工会議所 会頭 小林 健

- GX政策については、この会議で議論を積み重ね、GX推進戦略の策定、GX推進機構の設立など、着実に取組みを進めてきている。「経済価値、環境価値、社会価値」を同時追求する、今後のわが国にとって極めて重要な取組みであり、政策の継続と取組みの加速をぜひお願いしたい。
- そのうえで、とりわけ重要な以下2点について意見を申し上げる。

### 1. 原子力政策の推進

- エネルギーの安定供給と価格の安定は、日本経済の成長、地方・中小企業の発展にとって極めて重要であり、GX推進の大前提である。
- カギを握るのは原発。「脱炭素と安定供給を支える電源」として、安全が確保された原発の早期再稼働、さらには次世代炉の技術開発や人材育成を早急に進めなければならない。
- 今般の女川原発2号機の再稼働に向けた動きは大変喜ばしい。地元はじめ関係者のご努力に心から感謝申し上げたい。引き続き、柏崎刈羽原発6・7号機など、地元理解の促進をはじめ政府が前面に立った取組をお願いしたい。

### 2. GX加速に向けた中小企業の省エネ推進

- 中小企業の脱炭素・GXは、コスト削減に繋がる「省エネ」から始めるべき。商工会議所の調査でも、中小企業の7割が脱炭素に取組み、「省エネ型設備の更新・導入」が4割で最も多い。さらに多くの中小企業が取組めるよう、大胆な予算措置をお願いしたい。
- 課題は「ノウハウや人材の不足」であり、大企業や金融機関等による支援・協力が不可欠。パートナーシップ構築宣言の考え方に則り、サプライチェーン一体での取組みを後押しいただきたい。

以上

<参考：日本商工会議所のGX推進に関連する意見・要望>

エネルギー基本計画の見直しに対する意見

<https://www.jcci.or.jp/news/enterprise/eco/2024/1018140003.html>

中小企業の脱炭素・カーボンニュートラルに向けた取組推進に関する要望

<https://www.jcci.or.jp/news/enterprise/eco/2024/1018140024.html>